

# 第13回 児童・生徒の理解を深める会

## 趣旨

手元にネットにつながる端末があるなかで育っている現代の子どもたちは、昔の子どもたちと比べてどのように変わってきているのでしょうか。社会の変化に一番、敏感なのは、思春期の子どもたちです。彼らを取り巻く状況が変わってくると、社会との接点の部分では大きく変化している部分もあると思いますが、当然のことながら、変わらない部分もたくさんあります。

今回は、思春期とはどういう時期なのかということと踏まえて、今の思春期の子どもたちの人間関係のストレスの変化と、SNSでのトラブルなどについて考えていきたいと思います。また、思春期という時期の特徴が、今はいろいろな年代のなかで見られるようになっているということについても触れたいと思っています。

## テーマ

## 『思春期をどう理解したらいいのか — その特徴とSNSとの関係をふまえて —』

## 講師

いわみや けいこ  
**岩宮 恵子氏**（島根大学人間科学部教授）

### 《プロフィール》

聖心女子大学卒業後、鳥取大学医学部精神科での臨床を経て、現在、島根大学人間科学部心理コース教授、島根大学こころとそだちの相談センター長。専攻は臨床心理学。臨床心理士、公認心理師。スクールカウンセラーとして現在も学校に関わり続けている。小説、漫画、アニメに造詣が深い。

### 《主な著書・訳書》

『生きにくい子どもたち—カウンセリング日誌から—』（岩波現代文庫）  
『フツーの子の思春期—心理療法の現場から—』（岩波書店）  
『好きな人にはワケがある—宮崎アニメと思春期のこころ—』（ちくまプリマー新書）  
『思春期をめぐる冒険—心理療法と村上春樹の世界—増補版』（創元社）

## 日時

**令和元年11月30日（土）**

[受付] 9:30 ~ [講演・質疑] 10:00 ~ 12:00

## 会場

**仁愛大学 A303室**

## 対象

学校教育関係者、臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、  
幼児教育関係者、児童福祉施設関係者、各相談機関関係者、大学院生等  
（職務上の守秘義務をお持ちの方）

## 定員

**100人**

## 主催

**仁愛大学附属心理臨床センター**

## 後援

福井県教育委員会、福井市・越前市・鯖江市・越前町・南越前町 各教育委員会  
福井県公認心理師・臨床心理士協会

## 申込み方法

- 「参加申込書」による事前申し込みとする（質疑事項を募る）
- 11月15日（金）必着のこと（但し、定員に達し次第締め切る）

## 担当・ 問い合わせ先

**仁愛大学附属心理臨床センター**

〒915-8586 越前市大手町3-1-1 TEL.0778-27-8652 FAX.0778-27-8653

